



# ガールスカウトやまなし



## 連盟長あいさつ

ガールスカウト山梨県連盟  
連盟長 佐藤秀子

ガールスカウトの良いところって何でしょう。

皆さんは、言葉にしていえますか。私は、ガールスカウトの活動に参加して47年になります。

約半世紀ガールスカウトに関わってきました。

リーダー資格を取得するための講習会、キャンプの指導ができるための講習会や研修会、どのプログラムも新鮮で楽しい！楽しい！知らないことを知りえる楽しさを実感し、ガールスカウト活動にのめりこみ約50年、いろいろなことがありましたが、活動はどれもこれも楽しく充実していました。スカウティングは、この楽しさ、充実感が宝物です。

当時20代だった私も70代です。でも、学ぶ大切さ、楽しさは今もしっかり堅持しています。

スカウティングは、社会教育 生涯教育。一生涯、学ぶ姿勢は大切です。そして生きる力になります。ガールスカウト活動の幅の広さ、人との繋がり、深さ、体験を通して知りえたいろいろなことは、私たちの人生を輝かせてくれます。

スカウティングを通して歴代の女性たちがその時代、その時代を精一杯人として輝き挑戦し続けて下さいました。SDGs ジェンダー平等と国連が声を上げる前から、私たちガールスカウトは、この目線を、日々の活動の中にいつも入れ活動をしてきました。そして、社会に役立つ事のできる女性として、生きる力を育み、発信してきました。この事は私たちの誇りです。命ある限りそれぞれの立場でスカウティングに取り組み楽しみましょう。楽しいと思える活動を実践しましょう。それが自分高めにつながります。山梨県連盟が、これからも、会員一人一人の笑顔で多くの方たちにスカウティングの輪を広げ、躍動する連盟になることを心から祈念します。

まずは、会員一人一人、活動を楽しみましょう。それぞれが、今できる事に一つずつ挑戦しましょう。それが自分の糧になり、他の方たちの糧にもつなげられると信じて、毎日が明るくなるように、私たちはガールスカウトです。



# 国際ガールズメッセ

## 山梨県連盟 ～ユースメッセンジャーの活動について～

後藤 菜美

日本連盟 100 周年の事業として国際ガールズメッセが開催されました。山梨県会場の運営のためユースメッセンジャーとして活動しました。県連盟内の Sr・Rr へのアンケート調査の結果やそれまでの学びをもとに 8 月 18 日にシンガポール連盟と zoom で交流をしました。



互いの国のジェンダー問題のあり方がわかり、大きな学びを得られました。Sr・Rr 21 名もオブザーバー参加し、アイスブレイク等で交流を楽しみました。詳細は報告書をご覧ください。

10 月 9・10 日の国際ガールズメッセ当日はオンライン開催でしたが、ジェンダー問題に取り組む上で、日本や世界に多くの仲間がいると再確認できました。

ユースメッセンジャー 後藤菜美 依田碧 新藤千尋 / メンター 水口晴美

## 日本連盟国際ガールズメッセ「政治とジェンダー」について

依田 碧

国際ガールズメッセの二日目に行われた『政治×ジェンダー』をユースと考える』に登壇し、内閣特命担当大臣の野田聖子議員と参議院議員の伊藤孝江議員と対談しました。

一番印象に残っているのは、声を上げる事の重要性についてです。声を上げる事が必要とはわかっている、シルバーデモクラシーと言われている現代に、声を拾い上げてくれる政治家はいるのだろうか、少し懐疑的でした。しかし、お二人は批判的な声であってもそれをしっかり受け止めると言われました。その上で、なぜ反対しているのかを理解し、さらに説得する方法を考えると仰っていました。

今回のセッションに参加して、政治やジェンダーなどの社会問題に対して知識を深め、相手のことを理解し、問題に対して臆することなく声を上げていきたいと思いました。

## 2021 年度オンライン事業への取組み

指導者委員長 渡邊 美奈子

集まることが懸念される中、研修・講習・会議など、オンラインが主流となり山梨県連盟でも手探り状態からのスタートをしました。

トレーナーをはじめ各委員さんの努力や協力もあり、また日本連盟を真似ての操作設定にチャレンジしたりと、挑戦してきた事で自信がつき、今では躊躇せず開催する事が出来る様になりました。また初めてのオンラインは、参加する側も抵抗があり、操作に不安でなかなか参加まで至らなかった方も多くいましたが、少しずつオンラインの壁を乗り越え、参加していただける様になってきました。今後は県連の皆さん全員が繋がれる様になれると嬉しいです。



# 団活動報告

コロナ禍で  
久しぶり!

2団

夏の野外活動 初めての体験!  
カヌーにチャレンジ!



3団

真冬のキャ  
かったけ  
かった~

4団

山梨県議会へ  
緑の募金を預けました



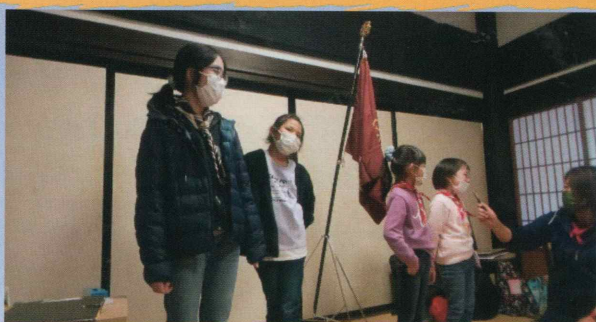
19団

食品ロスを学んだ集会



15団

防災集会「もしもの時にそなえよう！」  
みんなで頑張ったよ



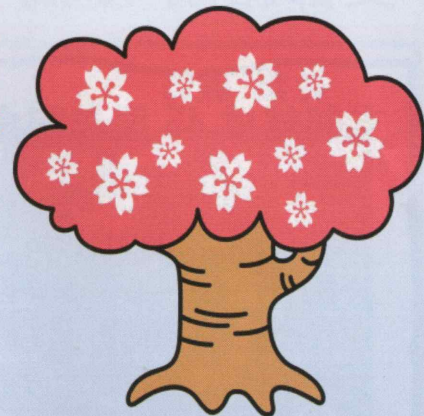
7回

なかなか集まれず  
集っての食事です



6回

集会で「ならべならべ」  
をしました



18回

キャンプ、寒  
いけど、楽し

1回

教えて先輩！  
団旗のセッティングを  
リーダーに教わってます



10回

凝固剤の威力を色水にて実験！  
しっかり固まりました

12回



9回  
清里にて  
団キャンプ



# 支部結成 45 周年記念事業

## 支部結成 45 周年記念事業を終えて

実行委員長 水口晴美

2018年6月20日が、この事業の始まりだったことを覚えていらっしゃる方は少ないかもしれませんが。この日に続き11月にも開かれた連盟懇談会で、連盟役員・ 트레이ナー・団委員長 リーダー長・委員会部会長と委員・各団代表が支部結成45周年記念事業の企画をしたのです。その時の企画から、私達は「過ぎた45年を思い、これまでに築き上げてきた絆を次の世代につないでいく、皆が楽しみ、さらに活動を県下に広めていく」を念頭に事業を進めてきました。



第1回実行委員会は2019年11月、そして本来は、2020年に国中地区で2つの事業、郡内地区での事業、甲府駅北口での「ガールスカウトフェスタ2020」につなげていく予定でした。ところが、新型コロナウイルス流行のために、これらは全て翌年に延期となってしまいました。このような中でしたが、2020年には、「団のあゆみ集」の作成、記念ロゴ・ソングの決定、2021

年には、「まんりきおさんぽラリー」、「森のアドベンチャーinキポキポ」（残念ながらコロナ感染拡大のために開催出来ませんでした）、10月24日の「ガールスカウトフェスタ2020+1」へと45年間の思いと絆をつないでいくことが出来たと思います。

私たちはこれからも歩みを止めることなく、絆をさらに50年60年とつないでいき、次の世代にバトンを渡したいと思います。

## まんりきおさんぽラリー

チーム長 保坂直美

新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ無事当日を迎え、天候にも恵まれた中で多くの方にご参加いただきました。

参加者は110名。たくさんの方のスカウト、リーダー、体験の方とお会いするのは本当に久しぶりのことです。

動物クイズ、俳句、マイバック作りと、各所で楽しそうに、そして真剣に取り組むスカウト達の姿を見ることができ、開催できてよかったと感じました。共にこの事業に尽力していただいた皆様ありがとうございました。



## 森のアドベンチャー in キポキポ

チーム長 新藤操

「森のアドベンチャーinキポキポ」は残念ながら開催直前の中止でした。この企画は「ガールスカウトフェスタ2020+1」で活かして頂きました。皆さんの楽しそうな姿をみることができて、実行委員一同喜んでおります。

# ガールスカウトフェスタ 2020+1



## まんりきおさんぽラリー



### 三枝正木 団委員長 (第1団)

四半世紀前に保護者として1団と関わりを持ちましたが、それも数年で終わり。発団60周年の節目に導かれるように、何かの糸に手繰り寄せられるように加わりました。

スカウト活動の一から学ぶというのはとても無謀な決断でしたが、豊かな経験、知識とを兼ね備えた1団の先輩方の懐の深さに守られている事を感じます。そしてコロナ禍での唯一の幸い【マスク】は動揺、気後れを隠してくれそうです。スカウト数の減少、中々進まない世代交代など問題は山積していますが、着実に若いリーダーが成長しています。糸を紡いで次に繋げていくために、日々の学び、気付きを大切にしながら、【マスク】が要らなくなった時に満面の笑みで活動出来るように、年齢に抗ってみようと思っております。



### 市村史 副団委員長 (第4団)

私とガールスカウトとの出会いは、さかのぼること何十年も前の小学校3年生のときです。母親に連れられて初めて行った集会は、とても楽しかったのを覚えています。リーダーやスカウトの仲間と毎週、集会で集い、歌やクラフトなど初めてのことばかりで、とても刺激になりました。

また、様々な団のスカウトが集まるキャンプではたくさんの友達を作ることができました。ガールスカウトだから経験できることばかりでした。

そして、私の子供にも私と同じようにガールスカウトでたくさんのことを学び、経験してほしいと思っております。学校でも習い事でもない場として、リーダーや同年代のお友だち、そしてこれから出会うであろう、全国や世界のスカウトたちと交流を通して、自分の考えや意見を発信できるような女性になってもらいたいと思っております。



### 大野二三江 団委員長 (第17団)

皆さん、こんにちは。私のガールスカウトの始まりは、約10年前の娘の入団です。普段は小・中学生を相手にした仕事をしているので私の出会う人たちは限られています。ずっとそんな環境でしたが、入団をきっかけに多くの人に出会うことができました。「私たちは皆姉妹です。」に支えられたことも何度もあります。昨年から団委員長になり、山梨県内に知り合いができました。私は技術や体験は少ないスカウトですが、ここで出会った様々な年代の仲間は他では得られない宝物だと思っています。皆さんもスカウト活動を通して、いろいろな宝物を見つけてほしいです。



### 編集 (情報委員)

石原美里・堀江朋夏  
渡辺雅子・大浦牧子  
菊嶋喜久江・丸山久美子

### 一般社団法人 ガールスカウト山梨県連盟

〒400-0811 甲府市川田町517 山梨県立青少年センター内  
TEL・Fax 055-228-6637  
E-mail: gs-yamanashi@ceres.ocn.ne.jp  
(火・木 13:30~16:30 但し、月が祭日の翌日は休業)

